

平成 29 年度 第 1 回 下呂市地域公共交通会議 議事録

日時：平成 29 年 5 月 11 日（木）

10 時 00 分～12 時 00 分

場所：下呂ふれあいセンター 3 階 大会議室

1 開会

2 市長挨拶（服部市長）

3 自己紹介

4 議事

（以下、意見交換の内容）

敬称略

【議第 1 号】下呂市地域公共交通網形成計画策定について	
事務局	議第 1 号について説明
委員①	国の補助を利用する観点で、申請頂いている業務内容と少し違う部分があるようにお見受けしています。単費であれば問題ないが、実証調査は入っていない方と思うので確認させていただきます。3 頁の地域公共交通網形成計画（案）の作成とあるが、とりまとめなら良いが、作成という言葉は使わないでいただきたい。業務委託に周辺地域という文言があるが郡上市、中津川市との具体的にはどういった中身になりますか。
事務局	国の補助申請に実証調査については載せていなかった。前回計画策定において分科会や実証調査なしに計画を作成した関係で、皆様のご意見が 100% 反映されたものにならなかった。実証調査はやった方が良くと考え、また支局と相談しながら進めていきたい。 作成自体は来年度になり、今回は取りまとめとなるので訂正します。 郡上市、中津川市との連携については、現時点で決まっています。第 2 号議案で説明する分科会の中で皆さんに考えていただきたい。
委員②	3 頁 6 番「観光・学校等関係者調査」について関係しているのか。観光と学校はかみ合わないと思うので、どういう調査をするのか気になるので。
事務局	調査は別なので、③「観光関係者調査」、④「学校等関係者調査」、⑤「自治会関係者」に改めます。一緒にやると言う事ではないです。
会長	他に質疑はありませんか。（質問なし） では、議第 1 号に賛成の方は挙手願います。 （挙手多数） 挙手多数です。議第 1 号は承認されました。
【議第 2 号】下呂市地域公共交通網形成計画策定に向けた分科会設置要綱（案）について	
事務局	議第 2 号について説明
会長	事務局から説明がありました通り、あくまでも素案ですので皆様のご意

	見を取り入れていきたいと思いますが、質疑はありますか。
委員③	<p>先般会議で濃飛バスの方から、まめなカーについて公共交通ではないと指摘があり福祉（有償運送）の対策としてやっていくとの意見をいただいた。弊社もそれはその通りであると思っているが、下呂にはドアツードアでないと対応できない人たちへのサービスがないです。これを何とか公共交通の枠、免許制度の中でやらないとまめなカーのサービスができなかったのが公共交通に入れていただいたのが経緯。こういう問題があると言う事を事務局が出された。切迫している問題は、70歳以上の方が減点のある違反をすると認知症講習に行かなければならない、そうすると免許を持つハードルが非常に上がってきている。免許の返納者に対する対策は必須となってくる。交通弱者の問題は、業者としては濃飛バスと弊社のタクシーという公共交通は二つしかないの、まめなカーをただの福祉対策ではなく公共交通にうまく組み入れて幹線はバスが、細々したところはタクシーが走るような対策を打っていただいた方が良い。資料の12頁2と3は似たような課題では、1と4は幹線の大事なところなので特にバスという2本立てくらいが良いというのが私の意見です。</p> <p>バス部門と、タクシーとしてやれるところの分科会方式が良いのではと考えます。</p>
委員④	<p>現行のまめなカー自体が法的に乗合事業という枠組みでやるのが本当に良いことなのか疑問に思っている。単純に申し上げにくいですが、認可運賃割引以外の何物でもないのが現状ではないか。バス事業者が幹線を走る、枝線をタクシーがということは間違っていないと思いますが、認可運賃云々のことは別物ではないかと考えています。</p> <p>分科会関係について全て絡んでしまっている内容かなと思う。こういう分け方が本当に良いのか、1と4、2と3という問題ではなくもう一度精査をする必要があるのではと。免許制度の実態もありますし、どういうふうにご利用促進をはかっていくのか、分科会の内容自体がこういう上げ方で良いのかと言う事です。</p>
委員⑤	<p>関連が無いという話なら意味が無い。全部関連するので逆に分けて考えたらどうかという提案だと思う。生活の話からすべて関連するその中で全員が集まって議論するのは難しいので、数人なら集まりやすいから。何を議論してもらいたいのかメインとして書いてあるだけで、地域性を考えたのが2番、弱者から見ても議論してほしいのが3、1番はどういう問題があるのか公共交通が下呂ではどうなっているのか、4番目の広域連携はすごく大切、郡上、観光なら高山という話もできるだろうし、連携という言葉にするかは別として周辺の市町村はどういう動きをするのか含めて勉強する。1番は調査内容全部までいれてしまうとシビア。これを2つにするか3つに4つにするか数人で考えていくことになればそんなに難しくない。これしか議論してはダメと言う話にしないことが大切。下呂では手段を含めて何をどういうふうに関連して、市民の皆さんの足をどうやったら確保できるかがメインになると思う。その視点でもって網計画を作っていくうえで分科会というスタンスを皆さんに解っていただけるか。先ほど調査の話が合ったように仕様書14頁のスケジュールに合わせて調査をさせていくと調</p>

	査結果をどうやってリンクさせるか。問題は分科会が議論したことを調査に反映するとなるとスケジュール的に1年でやれるかということ。
委員⑥	問題と言うのは今日まで交通会議が開かれていて把握をしていると思う、それについて事務局は実証試験をしてみたいと言う事だと思う。ストレートであると思う事務局のやり方は、それでも良いのか、それは良くないのですか。
委員⑤	実証したら良いかは分科会で決めればよい。まめなカーも本格運行と言う事ではない。どこまで実証するかは、物理的に時間的にかかるのを危惧している、そこをうまくやっていけば非常に良い。分科会で議論して調査してフィードバックしてからというのは良いことだけれど時間的にどうかということ。それを覚悟していくかということ。
委員⑥	イメージが掴めていないところがある。分科会は何をするのか。高齢者をどうするかとか店の無いところをどうするか、それがどういう形で交通形成計画に反映されていくのか、問題点はいっぱい出てくだろうとそれがコンサルの資料にどう反映されていくのか。なんとなくイメージが出てこない。それをどう解決するかは、おそらくコンサルも入ると言う事になるがおそらく交通弱者など（分科会）に入ると思うが、なんとなく先が見えないと思う。入れていただいたところでそれなりの話はできるとおもいますけど。
事務局	当初の事務局のイメージでは、洗い出した地域の課題をコンサルにぶつけて、こういった地域、課題に対してはこういった交通網がという提案をもらいたいと思っていた。それをするとスケジュール的にタイトになる。交通弱者対策のほかにデータ収集とかもあわせて行うとなると、伊豆原先生のおっしゃる通りかなり厳しい。案の段階ですがコンサルに分科会に入ってもらい、一緒に対策を考えていくのも一つの方法ですと思うが、我々としては脆弱地域、弱者に対しての提案をプロポーザルにかけたかったので、分科会で業者と一緒に決めていってしまうと、プロポーザルをやる意味が薄れると危惧します。
委員④	分科会の懸案事項は事務局が考えたんですね。事務局としてはそれを柱にしたいと言う事ですね。
事務局	そうです。
委員⑤	4つの分科会をそれぞれ5回開くという意味ですか。 全体の公共交通会議は3回くらいしかできないので、議論して反映させるのはなかなか難しいから、分科会で4つに分けた視点でスケジュールにあわせて議論していくというスタンスなんですよ。 そこまでお話していただかないと皆さんに解りにくいので、調査をしていくうえでコンサルにぶつけて反映しながらやっていきたいということですか。分科会のメンバーは会議の全員がどこかの分科会に入ってください。メンバーには入っていただくけれど毎回来ていただくのは大変だから。
会長	自治会の方には2に入ってください。
事務局	そうです。地元中心で開催指定考えています。アドバイザーとしてご意見をいただくなどお願いしたい。

委員⑦	分科会に入っただくのは前提ですが、5回すべてに来ていただくのは大変なので、分科会の取りまとめをした時点でお願いします。
委員⑧	少なくとも2、3というのは交通弱者という考え方としては、地域弱者であり或いは身体弱者である為、一つの分科会で対応した方が良いのではと思います。
委員⑨	自治会は両方に関係してくるので2、3一緒をお願いしたい。
事務局	仕様書に交通脆弱地域のみの記事しかありませんが、2、3一緒に考えるつもりでいました。分科会という事で細分化しましたが、もともと一緒の問題と捉えていたので併せて考えたい。その方がバス、タクシー業者の負担も減ると思いますので。
会長	ご指摘の検討内容についてはいかかでしょうか。 その都度分科会をやっていただくとか方法もあると思うので。
委員⑩	先ほど先生の方からあった現況交通網の見直しはどうか事務局からお答えいただければありがたい。 今答えが出なければ、せっかくでた意見なので、事務局の意見をいただきたい。
事務局	この書き方だとガラッと変わるような印象を与えてしまったかもしれませんが、バス停の位置など細かなことの見直しというつもりです。 調査事業における検討は、仕様書（1）から（6）の内容を決めていただくものです。
委員⑦	現況交通の見直しは何もやってなかったわけではない。やった中で問題点がでてきているのは確かなのでそれを含め見直しという表現とご理解いただきたい。
会長	表現についてはわかり易く訂正させていただくということによろしいですか。
委員⑩	交通脆弱と弱者（福祉）とは提供する側も求める側も、違うと思うので分けるべきではと思う。現況交通網の精査、何かそういったプロをお願いして現状踏まえて、形みたいなのを作ってもらえると、これを分科会というのはなかなか難しいと思う。
委員⑦	タクシーにもバスにも台数、運転手に限界がある。 全て分けるのが良いのか、物理的なキャパがあるのでこの中で網羅したい、分けるという意味ではないが、交通弱者も両方をカバーしたい。 地域の実情を知っているのは皆さんなので、コンサルだけでは実現不可能なので把握した上で両方を網羅できる良い方法があれば。
委員⑪	高山市との連携は含まれていないが、情報収集など必要だと思うが。
事務局	高山市との連携も必要と考えていますが、高山市は濃飛バスの既存路線が充実しているので、それに比べて弱いという意味で、ここでは郡上市などを取り上げています。高山市の方も必要不可欠だと考えています。
委員⑪	交通弱者も含めて、高山市との連携もお願いできればありがたい。
委員②	観光関係者から言うと、高山市はすでにやっているのを継続しつつ、新たな意見があれば改善していけば良い。郡上市との民間連携もやりましたので、その路線は発生するお客さんに対して、公共の中で乗るお客さんがいるのか？それよりも下呂全体の市内の周遊を視野に入れて、バス、タクシ

	<p>ーを使ってそういう調査も同時にやっていきたいので、そういう考えの中で分科会に参加したい。郡上市・中津川市を新規として開拓することも大切だが、市内をどう観光客に滞在していただくか視野にいられた分科会にしていただきたい。高山市中心でという話も出てきたので、郡上市・中津川市は慎重に費用対効果を考えて、それとプラス市内周遊も含めバランスをとりながら進めていくことが大事だと考えています。</p>
委員⑨	<p>福祉弱者の問題など分科会にオブザーバーとして民生委員とか福祉委員とかそういう方を呼ぶことはできるのですか。</p>
事務局	<p>要綱にもありますが、分科会で決めていただくと言う事もありますので、委員はこれの中で努めていただきますが、中身によっては詳しい方をその会議には内容によってお呼びしたいと考えています。</p>
委員②	<p>毎回呼ぶのも大変なこともあるので、調査をしっかりと。もれなく調査の中でしっかり持ってきてやらないと不十分になるので時間もかかる。事務局が出向いて行ってヒアリングし集めてくる、漏れが無いように会議に提出する。どうしても必要な人を会議に集めるようなかたちで、最初の情報収集はしっかりお願いしたい。</p>
会長	<p>それでは、課長が申しましたように、分科会の内容については精査をしてからしっかりと検討させていただくということで、2号議案については、ある程度お任せいただいてもいいでしょうか。頂いた意見は充分検討させていただきますので、よろしいですか。</p> <p>議第2号に承認いただけましたら挙手願います。</p> <p>ありがとうございました。全会一致で2号議案についても承認されました。</p>
<p>【議第3号】下呂市地域公共交通網形成計画スケジュール（案）についてについて</p>	
事務局	<p>議第3号について説明</p>
会長	<p>タイトなスケジュールになってくる、業者にある程度問題点をぶつけるため第1回の分科会は大変重要になってくると思いますが間に合いますか、コンサルの情報収集がしっかりとできるか不安はありますが。</p>
委員⑦	<p>先ほど2号議案にも話題になっていた内容についてご意見をいただいたので、スケジュールの見直しも必要かなと思っています。ただ骨格として5回は開きたいのと、3回は公共交通会議を開きたいと考えております。</p>
委員⑫	<p>分科会の内容をプロポーザルにかけるという話がありましたが、審査のところはどう関与するのか。</p>
事務局	<p>第1回の分科会で、仕様書3頁（7）について各地域の分科会で検討いただいてその提案をプロポーザルにかけようと考えています。こういった課題があるかを洗い出し、プロポーザルにかけるイメージでいました。</p>
委員⑫	<p>実証試験をどうやるかを第1回の分科会で決めていこうと。</p> <p>第1回の分科会で課題はいっぱい出てくると思うが。</p>
委員⑦	<p>プロポーザルを実証試験に反映することについて、課題について提案させる。いろんな問題点についてどう提案できるか業者の腕となるところ。非常にわかりにくいのが今の（7）です。第1回にどのようなご意見がいただけるかにもよります。</p>
委員⑥	<p>交通脆弱地域、弱者の課題は今までの交通会議の中で出てきたので、概ね</p>

	全部出つくしたのではないかと思う。あえて今までの会議を見直す必要があるのか。
会長	地域の声を入れていただいてコンサルと進めていきたい。今までの意見を取りまとめて足りない部分の提案をお伺いしていきたい。
委員⑤	スケジュールは計画を今年度中に作り上げるのか、今年度はまとめまでやって、計画は来年度までだからで良いのか。国の補助金は計画を策定することに補助金がついているわけじゃない。調査の仕方に対して補助金がついていると解釈している。今日決めなくてもいいと思うけど事務局がちゃんとイメージ持っていないとダメじゃないかなと。計画案を3月中旬に出して議論してもらうのか、調査としてまとめたのはここまでで来年度計画とするのか。
事務局	今年度はアンケートの取りまとめまでで、計画自体はは来年度の策定予定です。
委員①	網計画はどこまで書くのかといことについて、下呂で将来にネットワークとして、将来像を描いていただく。少子高齢化の中で、現状の調査、盛り込むための調査を行う。5年後の計画のため取組を書いていただく、計画をめざして進んでいるのかチェック含めて、スケジュールはタイトだと思いますが、地域の皆さんの意見を集約していかないといい計画にならないので。補助の関係では、今の計画を読み物として作成するのが網形計画です。素案を取りまとめていただき、それをどんどん良いものにしていくということをイメージしていただくと良いのかなと。
会長	29年度にはしっかりと現状調査をして進めていく、30年度からは新しい計画で進めていくつもりであるが、分科会等の月が多少ずれることはあると思いますが。 ご承認いただける方は、挙手をお願いします。 (挙手多数) ありがとうございます。 第3号議案も可決承認させていただきます。
【報第1号】平成27、28年度コミュニティバス、デマンドバス利用実績について	
社会福祉課	報第1号について説明
委員⑥	利用開始して4年くらい当初からそんなに増えてきていない。ようやく2桁となってきた。PRが不足している。昨年からお年寄りを中心にPR。予約をするということに慣れてない。JAが営業所を廃止するという事になって、買い物難民が増える。今後は強くPRして行くことで人数も増えていくのではと考えています。29年度には倍ぐらいにはしたいのでもう少し長い目で見ていただきたい。
委員⑤	家から出るときは固定電話があるので、帰りが予約できない。
委員⑥	自宅から電話をするのが面倒だというところで。帰りは、3~4人乗ったとしてバスは最後の人が終わるのを待っているの、途中の人はいつ来るかはわからないが、必ずバスは来るので。
委員⑤	デマンドはいつ来るか帰りいつ来るかも解りにくいし、今使っている人にどうやったらうまく使えるか聞いてもらうとか、実際に使っている人のご

	意見を聞くことも大切なので。 その人たちに他の方に広めていただけるようやっていかないと難しい。
委員⑥	ほぼグループで買い物に行かれる。使っている人は便利に使っている。使っていない人をいかに取り込むかと言うところです。
委員③	バス方式でやっている。まめなカーの方式でそれをやると毎日行けます。今は日にち、時間が決まっていますが、市でこれだけの補助を出してもらえれば、自宅にタクシーで行って少人数でやることできる。そういうことなんです。
【報第2号】下呂市福祉乗合型移動サービス事業試験運行実績について	
社会福祉課	報第2号について説明
委員③	まめなカーは割引をしているだけのタクシーだと言う事ですけど、市の事業ですが、業者がなるべく遠くの人を安くする体系を考えて、陸運局に乗合の形であればと認可を受け、市に負担がいてないんです。正規の料金もらおうとするとあと3割を市からもらいたいが、なんとか交通弱者の対策として割引させていただいている。運転手にもなるべく給与を反映したいのが本当ですが、下呂では近い人が乗ることがあまりないのでやっていける。誤解の内容にご理解いただき、あと3分の1程度を市で補助していただくと、安く利用いただける。デマンドバスのようなもの含めて対応できますので検討いただきたい。
会長	今頂いたご意見も踏まえて29年度の見直しを進めてまいりたい。
6 その他	
	その他ご意見 特になし

7 閉会